

★地域活動

環境フェスタ



<3月2日>

「天の川を美しくする会」の展示や餅つきに参加し、市民の皆さんと一緒にお手伝いをさせていただきました。

<2月9日>

野口ようすけ感謝の集い



1年間無事に地域で活動させていただいた事への感謝の気持ちを込めて開催致しました。200名を超える多くの皆様にお越しいただき、ありがとうございました。

天の川を美しくする会 20周年記念事業

今後、天の川を美しくする会20周年を記念した4つの事業を実施することが決定しました。交野の自然を守り、故郷を愛することを子どもたちに伝え、まちのみんなで育てていく活動は非常に素晴らしいものだと思います。私も天の川を美しくする会の事務局長として、更に頑張っ、取り組んでまいります。

1. 天の川わんぱく村を開村し、自然を愛する人材育成に取り組もう
2. 天の川にホテルを飛ばそう
3. 天の川羽衣伝説を後世に残そう(第一弾は七夕伝説の大紙芝居を実施中)
4. 天の川サミットを成功させ、4市(生駒市・四條畷市・交野市・枚方市)で美しい川にしよう

お電話・FAX・Eメール・ホームページにてご相談ください。

野口ようすけ

【TEL/FAX】072-397-9615

【Email】ynoguchi_katano@hello.zaq.jp

最新情報、議会報告、活動内容は、

野口ようすけ

検索



☆ひとが育つまちづくり☆

野口ようすけと通信

星のまち ほつと

発行日：2014年4月
発行人：野口陽輔

26号

★ご挨拶



交野市議会の野口です。新緑に染まり、自然が豊かなまち交野にとって、一番美しい季節がやってきました。

さて今回は、新年度を迎えるにあたり、交野市の状況を数字で紹介したいと思います。少子化、高齢化、施設老朽化、防犯、災害対策など、他市同様に課題は少なくありません。

限られた財源の中で、市民の皆さまからお預かりしたお金がどのように使われているかをご確認ください。

そしてお金を使うべきところにはしっかりと使った上でも、着実に借金残高を減らし、確実に健全化に向かっている交野の財政状況についても知っていただきたいと思います。

★平成26年度の予算と主な事業

防災・防犯の強化と教育・子育ての充実を図る予算編成にできました。

会計区分	H26年度	H25年度	対前年比	対前年比(%)
一般会計	23,140	22,206	934	104.2
国民健康保険特別会計	8,385	8,376	9	100.1
下水道事業特別会計	1,896	1,637	259	115.8
介護保険特別会計	5,123	4,708	415	108.8
公共用地先行取得事業特別会計	312	239	73	130.5
後期高齢者医療特別会計	1,070	952	118	112.4
総計	39,926	38,118	1,808	104.7

単位：百万円

今年度の主な新しい取り組み

- ・10月より交野市内でパスポートの申請、受け取りが可能になり、便利になります
- ・妊婦健診公費負担を7万8千円から10万円に増額し、自己負担が2万2千円減りました
- ・市民健(検)診でピロリ菌等の胃リスク検診オプションが受けられるようになりました
- ・乳幼児等医療費助成(通院費)の対象を就学前から小学校3年生まで拡充します(開始時期未定)
- ・35名以下の少人数学級を小学3・4年生まで広げ、よりきめ細かな教育が可能になります
- ・他にも様々な取り組みを行っていきます

防犯灯のLED化(5カ年計画の2年目)
防犯カメラ設置補助金
幾野春日線道路の維持補修

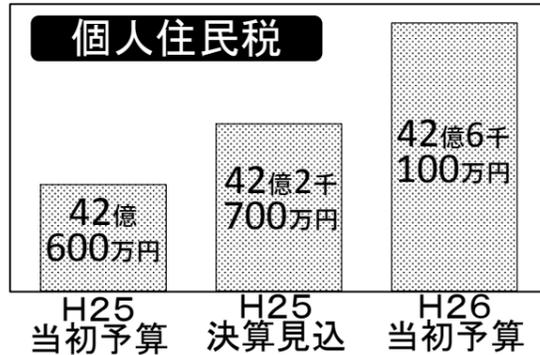
地域防災計画改定
第四中学校屋上太陽光パネル設置
中学校音楽室空調設置

など

このまちで育ち、このまちで出会い、このまちで暮らす。 誰もが健康で、こころ豊かに生きることが出来るまちづくりを目指します。

★市税状況

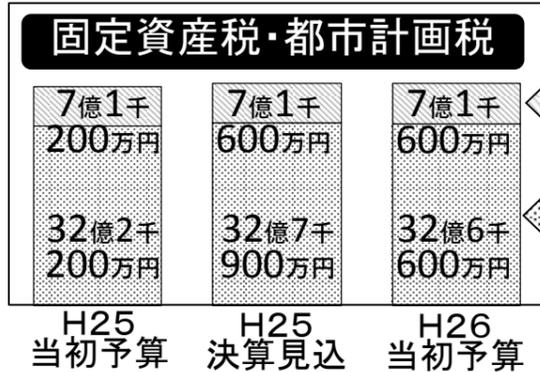
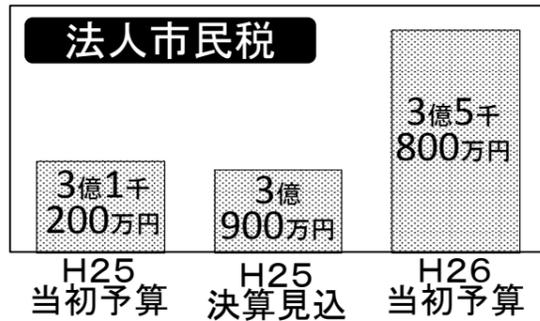
景気の緩やかな上昇で、合計1億4千5百万円の増収見込みです。



均等割額と給与所得控除額の改正等の影響で前年度当初予算に比べて、**1.3%、5千5百万円の増**を見込んでいます。



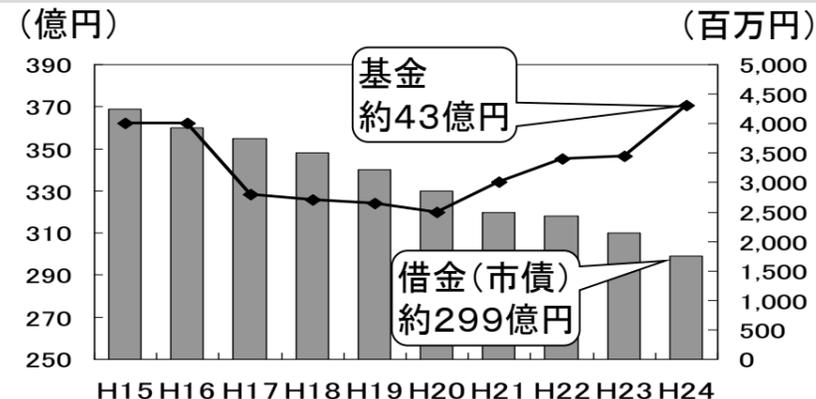
景気の状態は緩やかに持ち直しつつありますが、本市においては、中小の製造業が中心であることから、平成25年度の決算見込みを勘案し、前年度当初予算に比べ、**14.7%、4千6百万円増**を見込んでいます。



地価の下落と新築家屋の増加による影響で、前年度当初予算に比べ固定資産税で**1.4%、4千4百万円の増**。都市計画税で**0.6%、4百万円の増**を見込んでいます。

★借金と基金の状況(H24年度決算より)

健全で安心な交野市に向けて、着実に借金を減らしていっています。



交野市の借金(市債)は財政規模に比して依然高い状況にあるものの、平成14年度以降、着実に減少してきています。今では基金残高も増え、これらは財政健全化計画による市民の皆様のご協力による成果です。引き続きのご協力をよろしくお願い致します。

～政策提言～

交野らしいライフスタイルの確立

「交野らしさ」をさらに打ち出し、交野ならではの取り組みを進めることで、交野市民であるという誇りを高め、交野市民であるからこそ実現できるライフスタイルを確立すると共に、好感的なイメージからも市外から同様の目的意識を持った人が集まり、人と人が活発に交流できるまちを目指して、以下の項目を提言します。

1. 健康のまちの推進

平成23年8月に「スポーツ基本法」が改正された。その中で、国、地方公共団体は、この基本理念に則り、「スポーツに関する施策を策定し、実施する責務を有すること」が定められている。健康寿命ランキングで全国47都道府県の中で男性44位、女性45位と低迷する大阪府の中であって、交野市は水や空気、地勢的な面等に恵まれていることを鑑み、「健康のまち交野」を目指し積極的に推進されること。

2. 地勢的なメリットの活用

交野市民マラソンの成功によって市民スポーツや健康意識の高まりが確認された。今後は市民マラソンの発展・継続に加え、スポーツとしても街おこしとしても、近年注目をされている「トレイル・ランニング」などによって、交野の豊かな森林や山地を活用して、スポーツツーリズムのニーズを取り込むなど、地勢的なメリットを活かされること。

3. 若者の移住・起業支援

交野市ではまだ深刻な状況にはないが、人口減少と超高齢化が進む中で、都市型過疎対策、特に犯罪や事故の原因ともなる空き家対策が大きな課題となっている。交野市においても、若者移住の住宅支援を進めると共に、若者移住者を核とした起業支援(インキュベートルームの設置やビジネスマッチング講座の開催など)に積極的に取り組まれ、人口構造の若返りに取り組まれること。

4. 地域住民による子ども教育の推進

若い世代が住み続けるためには、「共稼ぎでも暮らせるまち」の実現も重要である。保育制度・託児の拡充を進めると共に、文科省が進める「地域子ども教室推進事業」などを地域独自の活動として定着・継続させ、地域の大人の協力を得ながら、空き教室を活用した「地域子ども教室」などの活動を展開されること。

5. 水、土、食の交野ブランド創出

交野の良好な自然環境を活かし、さらに交野市民や交野市外の人々に打ち出していくためにも、「良質な水」「肥沃な土」「安全な食への取り組み」など、独自の「交野ブランド」の創出に取り組まれること。「水」については、地下200～300mの深井戸から組み上げている15箇所地下水や、万一の災害に備えて25箇所に設置された災害時用井戸を含め、特徴ある独自ブランドとして打ち出す仕掛けを講じると共に、単なる市水のボトリングに終わることなく、市内域の飲食業と連携した独自の「水文化」を生み出されること。また、「土」については、農地法として制限のある「土地」から離れ、「土」のブランドとして、腐葉土や間伐材、生ゴミなどを活かした堆肥づくりや、無農薬、減農薬に取り組まれている市民農業家の力を借りた「プランター土」による自家農業・園芸の奨励など、特徴を活かした取り組みを進めると共に、アンテナを高くして国などの支援事業の活用を図られること。